

2017/4/13

(日々雑感 76)



FB でちょっと物騒な話を書いたので、今日は幾分脳天気な話をします。

若いちょっと太っちょのお母さんと小さな女の子の話です。

昔、僕が子供の頃にあった遊びで、ゲーちょきパーというのがありました。

ぐーがグリコで、じゃんけんに勝つと文字数の3だけ先に進める。パーで勝つとパイナップルで6歩。チョコキで勝つとチョコレートで同じく6歩前に進めるのです。それを子供達が学校帰りにチョコレートとかパイナップルとか大きな声を上げながら三段跳びの要領で大股歩きをして遊びながら帰ったのです。

きょうはその同じあそびを久しぶりに目にしました。あまりこぎれいな恰好をしているとはお世辞にも言えない、いささか太っちょのお母さんと5歳くらいの女の子が、スーパーに行く小川沿いの桜並木の下でその遊びをやりながら買い物に行くのを見たのです。

なんか良いなあと思いました。

それというのも最近では、若いお母さん方は結構大きな子供なのにベビーカーに乗せてスマホ三昧だったり、前だっこをしているのに赤ちゃんの頭越しにスマホ画面に夢中だったりして、いないいないばーなんかを全くしていないからです。子供の顔を見ていることが少ないからです。

さっきの女の子はとってもニコニコしていて、とっても楽しそうでした。でも、ベビーカーの少し大きな子や、頭越しスマホの下にいる赤ちゃんは全然笑っていないし、にこにこもしていないのです。

是では、子供が可哀想です。

子供は、親のまなざしの中ではじめて愛情を感じて安心して育つような気がします。それがないと不安でたまらないのではないかなと思います。

ぼくはその、ちょぴり太っちょのお母さん以外の若いお母さん方が、今から10年の後以降のある日、あるときから、とてつらい思いをしなくてはならないようなことにならなければ

ばいいのだが、スーパーからの帰り道で一人住まいへの家路を買い物袋を下げてたどりながら思った次第です。

昨日の夜桜と違って今日は冷たい白蠟色の桜ではなく、お日様の下の柔らかくて暖かいすすも色のさくらでした。

とてもきれいに見えました。